

富山県朝日町

# 議会だより

うみ彦・やま彦・つる彦



第89号

平成28年5月1日



4 / 9(土) あさひ桜まつり

## 第1回議会定例会

■ 28年度予算、27年度補正予算など	2～4
■ 代表質問 3名	5～9
■ 一般質問 5名	10～14
■ 常任委員長報告	15
■ 議会日誌 1月～3月	16

《発行編集》

富山県朝日町議会だより編集委員会

〒939-0793

富山県下新川郡朝日町道下1133

☎0765-83-1100(代)

## 平成28年度予算

1万円未満切捨て

<b>一般会計</b>	<b>総額</b>	<b>81億6,255万円</b>
<b>特別会計</b>	<b>総額</b>	<b>35億5,913万円</b>
国民健康保険特別会計		16億4,485万円
後期高齢者医療事業特別会計		4億2,913万円
簡易水道特別会計		4,370万円
下水道特別会計		14億3,892万円
南保外二地区用水特別会計		151万円
奨学資金特別会計		102万円
<b>病院事業会計</b>	<b>総額</b>	<b>36億7,493万円</b>

## 平成27年度補正予算の主なもの

<b>一般会計（補正第10号）</b>	<b>補正総額</b>	<b>1億4,357万円</b>
学校管理費（小学校費）		1億1,095万円
学校管理費（中学校費）		3,262万円
<b>一般会計（補正第11号）</b>	<b>補正総額</b>	<b>7億4,062万円</b>
○A化推進費		2,959万円
地方創生加速化交付金事業		4,398万円
住民基本台帳ネットワークシステム費		221万円
臨時福祉給付金給付事業		5,892万円
子育て支援事業		243万円
繰出金（国民健康保険特別会計）		2,143万円
水田農業生産振興対策事業		1,441万円
道路改良事業		257万円
財政調整基金積立金		3億円
減債基金積立金		2億円
予備費		1億2,791万円
<b>特別会計</b>		
国民健康保険特別会計		△224万円
下水道特別会計		△3億1,433万円

## 第1回定例会

**平成28年度予算、平成27年度補正予算、条例制定・一部改正、人事案件、議員提案など42議案を可決・承認・同意・答申**

平成28年第1回議会定例会は、3月2日から17日までの16日間にわたり開催され、28年度予算や27年度補正予算、条例制定・一部改正、人事案件、議員提案など42件が提案され、原案のとおり可決・承認・同意・答申しました。

### 平成28年度予算 主な新規事業

- あいのトキめき事業
- 不育症治療費助成事業
- さみさと小学校大規模改造工事設計業務委託
- 教育用パソコン購入
- 中学校朝日岳登山助成
- ふるさと教育推進事業
- 武道館建設事業設計業務委託
- 社会体育施設整備事業設計業務委託
- ビーチボール競技普及活動事業
- 肺がんヘリカルCT検査
- 介護予防カフェ開設事業
- 介護予防/ミニサロン補助
- 新規担い手農業者支援事業
- 農業複合化支援事業
- 既存企業雇用支援事業
- 商業等魅力アップ応援事業
- 舟川桜並木周辺活性化事業
- 観光協会への組織強化補助
- あいのトキめき婚姻・出生祝福事業
- 空き家活用促進対策
- U・I・ターン向け住宅促進事業
- 向陽町団地駐車場・宅地造成工事
- 旧町営プール用地宅地造成事業
- 小規模急傾斜地整備事業（谷地内）
- 消防庁舎整備事業
- 東草野町営墓地造成工事
- 泊高校魅力化支援事業
- 人事交流職員研修
- 来庁者にやさしい庁舎整備事業

## 第1回定例会審議結果

※議決日は3月17日（議案第1号は3月2日）

議案番号など	件名	審議結果
議案第1号	平成27年度朝日町一般会計補正予算（第10号）	原案可決
議案第2号	平成28年度朝日町一般会計予算	原案可決
議案第3号	平成28年度朝日町国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第4号	平成28年度朝日町後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決
議案第5号	平成28年度朝日町簡易水道特別会計予算	原案可決
議案第6号	平成28年度朝日町下水道特別会計予算	原案可決
議案第7号	平成28年度朝日町公共用地先行取得等事業特別会計予算	原案可決
議案第8号	平成28年度朝日町南保外二地区用水特別会計予算	原案可決
議案第9号	平成28年度朝日町奨学資金特別会計予算	原案可決
議案第10号	平成28年度朝日町病院事業会計予算	原案可決
議案第11号	朝日町行政不服審査条例制定の件	原案可決
議案第12号	行政不服審査法等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定の件	原案可決
議案第13号	朝日町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例制定の件	原案可決
議案第14号	朝日町職員の退職管理に関する条例制定の件	原案可決
議案第15号	朝日町行政組織条例一部改正の件	原案可決
議案第16号	職員の分限に関する手続き及び効果に関する条例一部改正の件	原案可決
議案第17号	朝日町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例一部改正の件	原案可決
議案第18号	朝日町各種委員会委員等の報酬及び費用弁償支給条例一部改正の件	原案可決
議案第19号	朝日町の職員の給与に関する条例等一部改正の件	原案可決
議案第20号	朝日町国民健康保険税条例一部改正の件	原案可決
議案第21号	朝日町図書館・明治記念館条例一部改正の件	原案可決
議案第22号	朝日町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例一部改正の件	原案可決
議案第23号	朝日町重度心身障害者等の医療費助成に関する条例一部改正の件	原案可決
議案第24号	朝日町在宅介護支援センター条例一部改正の件	原案可決
議案第25号	あさひ福祉センター条例廃止の件	原案可決
議案第26号	公の施設の指定管理者の指定の件	原案可決
議案第27号	富山県市町村総合事務組合規約の変更の件	原案可決
議案第28号	富山県市町村公平委員会共同設置規約の変更の件	原案可決
議案第29号	第2次朝日町過疎地域自立促進計画策定の件	原案可決
議案第30号	町道路線の認定の件	原案可決
議案第31号	平成27年度朝日町一般会計補正予算（第11号）	原案可決
議案第32号	平成27年度朝日町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第33号	平成27年度朝日町下水道特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第34号	地方自治法第179条による専決処分 の件 専決第10号 朝日町税条例等の一部を改正する条例一部改正の件	原案承認
議案第35号	さみさと小学校空調機設置工事請負契約締結に関する件	原案可決
議案第36号	不動産の取得に関する件	原案可決
議案第37号	朝日町副町長を選任するため同意を求める件	原案同意
議案第38号	朝日町固定資産評価審査委員会の委員を選任するため同意を求める件	原案同意
諮問第1号	人権擁護委員候補者を推薦するため意見を求める件	答申（原案適当）

## 第1回定例会審議結果（つづき）

議案番号など	件名	審議結果
議員提出議案第1号	朝日町議会委員会条例一部改正の件	原案可決
議員提出議案第2号	朝日町ふるさとの景観を保護する宣言	原案可決
議員提出議案第3号	介護報酬の見直し・介護労働者の処遇改善と人材確保を求める意見書	原案可決
請願	介護報酬の見直し・介護労働者の処遇改善と人材確保に関する国への意見書提出を求める請願書	採択
陳情	軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情	継続審査
陳情	若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書採択の陳情	継続審査

### 人事案件

○朝日町副町長を選任するため同意を求める件

◆朝日町舟川新345番地

山崎富士夫氏（57歳）の選任に同意

○朝日町固定資産評価審査委員会の委員を選任するため同意を求める件

◆朝日町殿町2434番地

橋本 智樹氏（63歳）の選任に同意

○人権擁護委員候補者を推薦するため意見を求める件

◆朝日町東草野1750番地甲

下沢真知子氏（62歳）の推薦について原案適当として答申

※年齢は平成28年3月17日現在

### 朝日町議会はふるさとの景観を保護することを宣言しました

朝日町議会では、平成28年3月議会において、北陸新幹線や北陸自動車道の沿線の美しい豊かな景観を保全し、将来の世代に引き継いでいかなければならないと考え、率先して良好なふるさとの景観の保護に取り組むことを宣言しました。

### 朝日町ふるさとの景観を保護する宣言

朝日町は、世界に誇れる北アルプスの朝日岳・白馬岳をはじめとする美しい山々、日本海・富山湾の美しい海や田園風景の眺望を有しています。

私たちは、北陸新幹線や北陸自動車道の沿線の美しい豊かな景観の恵みを享受する権利とともに、その景観を保全し、将来の世代に引き継ぐ使命があります。

以上のことから、朝日町の特徴を踏まえ、たうえで、朝日町議会は良好なふるさとの景観の保護に取り組むことを宣言します。

平成28年3月17日

富山県朝日町議会

### 議会を傍聴してみませんか！

定例会は3月、6月、9月、12月に開催されます。日程については、議会事務局にお問い合わせください。ホームページでもご覧になれます。http://www.town.asahi.toyama.jp/

# 代表質問

## 「子育て応援日本一のまち」の重要施策は

### 答 医療費完全無料化とインフルエンザ 予防接種助成を高校3年生まで拡大



大井光男 (志政会)

**質問** 子育て支援について、「県下一の子育て支援」から「子育て応援日本一のまち」を目指して積極的に取り組むと説明しているが、取り組む事業の総予算額と、その中で来年度の重要施策は。

**答弁 町長** 子どもを生み育てやすい環境づくりにしっかりと取り組むことが最も重要であると考へており、平成28年度の子育て支援に関する予算総額は6億6,699万7千円である。

主な新規事業としては、これまで中学3年生までを対象としていた医療費完全無料化、子どもインフルエンザ予防接種助成をいづれも高校3年生まで拡大。また、子育て支援の一環となる不妊治療費助成事業は、43歳未満の女性につ

いては年3回まで全額助成とし、新たに男性の不妊治療や流産を繰り返す不育症治療も全額助成していく。

学校教育に関する平成28年度の予算総額は2億8,627万6千円で、主な新規事業として、武道館建設及びさみさと小学校の大規模改修に係る実施設計業務に取りかかる。

また、町の歴史、文化、観光、自然、伝統など、次世代を担う子どもたちに見て触れてもらうことで町の魅力を肌で感じ、「ふるさと愛」を育んでもらうことを目的とする「ふるさと体験ツアー」や「ふるさとチャレンジ検定」等のふるさと教育事業を実施する。さらには、富山県立泊高等学校に対し、泊高校魅力化支援事業により

部活動等へ助成を行う。

**再質問** 今後、新しい何かの施策を行うのか。それとも、全ての細かい施策の底上げを行うのか。

**再答弁 町長** 今後さらなる拡充、もしくはいろいろな形に町がかりを切っていくかということだと思いが、検証すべきことは検証し、よりよいものにすべき、拡充すべきといういろいろな議論の中で検討していかねばならないと思っている。

### 担い手農業者の育成支援はどのように考えているのか

### 答 設備投資の支援を行い、多くの担い手を育成したい

**質問** 農業基盤の強化策について、担い手の農業者の育成のための支援や安心・安全な食材を供給し消費者に選ばれる農業を目指すことへの支援について、町としてどのように考えているのか。

また、若手の農業の担い手を中心に新しい組織がつくられるとのことだが、どのような組織で、どのような活動を行うのか。

**答弁 農林水産課長** 朝日町の農業経営者が高齢化し、新たな担い手が少ないことの要因の一つとして、農業を始めるときの初期投

資が、機械の大型化や性能の向上などによって価格が上昇し、大きな負担となっていると考えている。このことから、初期投資にかかる負担を軽減するために、新規担い手農業者が設備投資を行うときの支援を行うこととした。

これまでも国や県などの補助制度があったが、さらに町の補助制度を厚く上乘せして、その後の経営にも影響が少なくなるよう支援し、一人でも多くの担い手を育成していきたいと考えている。

消費者に選ばれる農業を目指すための支援については、安心・安全な食に対する関心の高まりから、マイ農家、マイ漁師と呼ばれる信頼する農家や漁師から直接食べ物を購入する人が増えており、生産工程の安全性が確認できるような農作物やそれをつくる農家の顔が見えるよう、インターネットを活用したPR方法などを検討していきたいと考えている。

若手担い手による新しい組織については、3月30日の設立に向け準備が進んでおり、意欲のある若い農家・漁師が夢に向かってチャレンジできるよう支援していきたいと考えている。

地区が計画している彼岸花植栽についての町の考えは

**答** 経費の一部を補助する予算を計上している

**質問** 舟川新地区の長年の保護活動によって、舟川の桜並木は多くの方々が訪れる景勝地となっている。また、地区では西側ののり面全面に彼岸花を植栽する新しい試みが計画されている。この新しい試みについて、町としてのどのように考えているのか。

また、花見時期の駐車場の確保、休憩所の環境整備についてもどのように考えているのか。

**答弁** 商工観光課長 舟川桜並

木周辺の魅力は、桜にとどまらず、夏には舟川に沿ってホテルが乱舞しており、冬にはLEDを活用した冬の桜並木を創出している。

秋には、並木周辺の田んぼを利用して、田んぼアートが行われているが、加えて、ことし、秋の魅力アップのため、地区が彼岸花による景観づくりを計画しており、地区要望によりその経費の一部を補助する予算を新年度において計上している。

また、桜の木の樹齢が60年近く

になることから、長寿命化を図るために、日本花の会より講師を招いて、剪定や施肥の勉強会を行うこととしている。

町としては、この舟川桜並木周辺が一年を通じた絶景地となることでさらなる交流人口の拡大が期待されることから、桜の保護活動や魅力アップに対して支援をしていきたいと考えている。

また、年々来訪者が増える一方、周辺には駐車場もないことから、昨年に引き続き、泊駅からアゼリアを経由する臨時まちバスを運行することとしているが、ことは地区が有料臨時駐車場を設置する予定と聞いている。



舟川ベリの桜並木

## 第5次朝日町総合計画で描く朝日町の姿は

**答** 「夢と希望が持てるまちづくり」を理想の姿とし、諸施策の遂行にまい進する



加藤好進 (グループ22)

**質問** 第5次朝日町総合計画基本構想の「夢と希望が持てるまちづくり」朝日町、その施策大綱として、子育て・教育、健康・福祉、産業振興、観光・交流、定住、安心・安全、生活基盤の7つのまちづくりの柱に沿った施策と基本的指針が示されているが、町長が描く朝日町の姿は。

**答弁** 町長 平成28年4月からスタートする第5次朝日町総合計画は、平成28年度から平成37年度までの10年間を計画期間としている。町長就任時から常に信念の根幹としている、町民一人ひとりが「夢と希望が持てるまちづくり」を理想の姿と

し、「子育て応援日本一のまち」「生涯健康で活躍できるまち」「移住・定住・交流で賑わうまち」を基本的なテーマとして諸施策の遂行にまい進していく。



総合計画の答申書の提出

# 代表質問

企業誘致はこれまで何社と接触したのか

**答** 2社への訪問を4回行い、紹介による訪問も行っている

**質問** 本社機能を持った企業が当町に立地すれば、その企業と取引相手が地域内に進出するといった二次的な効果も期待できるが、どのような業種をターゲットにしているのか。また、これまで何社と接触したのか。

**答** 町長 昨年改正された地域再生法に基づく地方拠点強化税制では、首都圏から本社機能の移転や地方にある本社機能の拡充について優遇措置が講じられるなど、企業の地方進出を国全体で後押ししており、朝日町としても、このような本社機能の移転も視野に入れつつも、朝日町にしっかりと根づく、元気のある企業に期待したいと考えている。

また、とやま企業立地セミナーへの参加や大阪医薬品協会への訪問などを中心に行ってきたおり、協会事務局との連携により、これまで2社への訪問を、合わせて4回行っている。

その他にも、地元企業の紹介で、提携している企業等への会社

訪問を行っている。

今後も施設建設が予定されているが、町の財政状況は

**答** 財政の健全化は維持していきたいと考えている

**質問** 今年度予算一般会計は前年度当初比7.5%増の81億6,255万7千円と過去2番目の規模となっている。

今年度は新消防庁舎建設工事、武道館・社会体育施設的设计業務委託費が計上されており、近年の図書館・明治記念館や五差路周辺複合施設の建設などに加えて、今後も施設建設が予定されているが財政状況や計画の予算根拠は。

**答** 財務課長 大型建設事業を実行する際は、財政健全化を維持する観点から、限りなく有利な財源を確保することが重要であり、はじめに、補助対象となる国や県の補助金を見つけ、仮に補助金がないとすれば、国が7割負担してくれる過疎対策事業債や緊急防災・減災事業債などを活用している。

大型建設事業については、全てこれらの有利な財源を活用する予定で、財政調整基金などからの繰り入れについては、必要最小限に

抑えられるものと考えている。

また、有利な過疎対策事業債を活用したとしても将来の負担が大きくなるのではないかと懸念されるが、国が定める財政健全化判断指標の中に実質公債費比率があり、町は予算編成時を含め、随時この比率について今後の見通しを立てている。現在の実質公債費比率は8.6%であり、これは、県内市町村の中でも健全化といった意味では上位で良好な状況となっている。

予定している各種大型事業の概算額をもとにした試算では、この比率のピーク時と想定できる平成32年度では13%台になると予想しているが、起債許可団体の基準である18%からは大きく下回る見込みで、財政の健全化は維持していけるものと考えている。

**再質問** 一般家庭の貯蓄にあたる財政調整基金などを含め13部門の基金積立金があるが、その推移は。

**再答** 財務課長 現状基金額は、町全体として約70億円である。参考までに、県内15市町村の中で、富山市、高岡市、南砺市に

次ぐ4番目で、家庭に例えるとそれなりの貯蓄があるということになる。10年前は、町の財政調整基金を含めた基金は約50億円。逆算すると、この10年間で20億円積み増したという結果になる。この10年間で図書館や五差路周辺複合施設整備事業、パークゴルフ場、五箇庄地区コミュニティセンターの里、保育所、さらに、朝日中学校の改築も行われており、大きな事業をやってきて、20億円積み増した実績になる。



新消防庁舎建設予定地

## 緊急装置設置貸与事業の運用の仕組みは

**答** 高齢者の登録した世帯のうち、設置が必要と判断した場合に無償で貸与



清水眞人（一步会）

**質問** 緊急装置設置貸与事業について、貸与の必要な独居世帯、

老老世帯が何世帯あると把握しているか。また、この通報システム運用の仕組み、貸与申請方法、メンテナンス等はどうになっているのか。

**答** 健康課長 このサービス

を利用する場合、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の登録をしていただくこととしており、現在、登録しているひとり暮らし高齢者世帯は410世帯、75歳以上で構成される高齢者のみ世帯は82世帯となっている。

この登録世帯のうち、民生委員児童委員などを通じて情報の提供をいただき、緊急通報装置の設置が必要と判断した場合に、機器を無償で貸与するものであり、平成

28年3月時点で、ひとり暮らし高齢者世帯81世帯に貸与している。

現在使用している緊急通報装置は、ボタンを押すと近くの協力者やご家族、消防署の順に通報されるが、利用者自身がこのボタンを押す必要がある、不慮の事態の際には効果がないことから、平成28年度において更新する緊急通報システムは、これまでの機能に加え、緊急ボタンを押すとコールセンターにつながり、適切な指示ができるほか、状況に応じてコールセンターから協力者や家族への連絡、救急車の要請もできるサービスや、コールセンターに健康や生活のことや悩み事など、いつでも相談できる相談ボタン、人の動きを感じずる人感センサーにより、一定時間、動きが見られない場合

に自動的にコールセンターに通報されるサービス、毎月1回コールセンターから安否確認の電話が入る見守り機能の4サービスが追加となる。

緊急通報装置貸与の申請は、あらかじめ相談をしていただき、近隣の協力者や家族などの通報先、人感センサーの設置場所を決めた上で、担当の民生委員児童委員の署名を添えて申請することになる。

メンテナンスについては、人感センサーなどの電池の残量不足や故障が生じると自動的にコールセンターが感知し、電池交換や修理についてシステム運用会社に対応するものとなっている。

## 黒部宇奈月温泉駅連絡バスの利用者比率は

**答** 8割が町外者、2割が町民となっている

**質問** 黒部宇奈月温泉駅連絡バス

運行社会実験は、北陸新幹線開業に伴い当町の流動人口増大を図り、町の活性化に寄与することを目的に、その手段として開始したと理解しているが、利用人数1運行当たり利用人数、町外利用者・町内利用者の比率は。

また、町外利用者は増加傾向に



黒部宇奈月温泉駅

あるのか。

**答** 商工観光課長

運行については、予約があった場合のみ運行する方式をとっており、開始から2月末現在、運行便数1,129便、利用者数1,757名であり、1便当たり1.6人の利用となっている。

町内外別利用状況については、利用者の約8割が町外者、残り2割が町民となっている。

また、目的別には、8割がビジネス関係者であり、運行開始当初に比べ、ビジネスによる町外者の利用が増えてきている。

今回のJRのダイヤ改正に合わせ3月14日からは、さらなる住民



# 代表質問

の利用拡大を図るために、南保、山崎、大家庄地域の利便性を考え、停留所を新たに設定することにしては、また、要望の多かった五差路でも乗降できるように改善を図ったところである。

**再質問** 何年ぐらい社会実験としてやって、その後結論づけようとするのか。

**再答弁** 商工観光課長 社会実験としては平成28年度も行って、平成29年度より本格的な公共交通機関として運用していきたいという思いは持っている。

## 総合計画を裏つける資金見通しを作成したのか

**答** 無理のないことを確認し総合計画を策定した

**質問** 第5次総合計画で描くまわりの事業を推進するためには、総体としての程度の資金が必要であり、どのように調達するのか。総合計画を裏つける資金計画なり資金見通しを作成したのか。

**答** 町長 第5次総合計画は、町の将来像である「夢と希望」が持てるまちづくり「朝日町」の達成を目指し、基本構想、基本計画、実施計画で構成している。す

なわち、総合計画は町が考える将来像の指針・骨格を定めたものであり、実施の際には、その都度、社会情勢や時代の潮流を的確に捉えた上で行っていくものである。この第5次総合計画の計画期間

である10年間分の計画額の算定については、社会情勢の急激な変化や国・県の計画変更なども想定すると、5年先、10年先までの精度の高い見通しを立てるには不確定要素が多いことから、資料としての提示はできない。

しかしながら、主要事業の計画額は、現時点で把握し得る範囲で朝日町の全体予算規模と比較しながら全体額を捉え、予算規模としては無理のない事業費であることを確認・判断した上で総合計画を策定したものである。

また、総合計画における実施計画は、基本計画で掲げた施策に沿って主要事業を示すものであり、事務事業の効果・効率や経済性の観点から、3年間を期間とした計画額を算定し、毎年のローリング方式により計画額の見直しを行っている。第5次総合計画においても、現在実施計画書を作成中であり、6月議会定例会時には議員各位にお渡しする予定である。

## 本文に掲載した記事以外の質問

### ◆大井光男 議員

- 平成28年度の取り組みについて
- 雇用機会の確保について
- 地域おこし協力隊について
- 高齢化社会への取り組みについて
- 介護人材の確保について
- 健康寿命への取り組みについて
- 消防団員の確保について
- 団員確保にむけた取り組みについて

### ◆加藤好進 議員

- 第5次朝日町総合計画について
- 学校教育の推進について
- 平成28年度予算について
- 観光・交流について
- 地域おこし協力隊について
- 医療について
- あさひ総合病院病床数について
- 在宅医療の推進について
- 庁内職員人事について
- 公募制による人事異動について

### ◆清水真人 議員

- 平成28年度予算(案)について
- 定住サポート事業並びに既存住宅リフォーム支援事業について
- 第5次総合計画について
- 今後5カ年でどの程度の基金取り崩しを想定しているのか
- あさひ総合病院について
- 国の方針を受けた、今後予想される病床削減数ほどの程度か
- 病床削減後の考えられる活用方法は
- 地域医療を継続していくために、今後多額の投資資金が必要なのか
- 老朽危険家屋撤去促進事業について

### ◆荒尾勇二 議員

- 医療と介護の一体改革について
- 国に対して、国民の生命を守るべく充実した医療体制を求めざるべきだが、どうか
- 安全安心の町づくりのために、暗渠部分のグレリーチングを軽量のものに取り替えるべきだと考えるが
- ラジオ付戸別受信機の受診状況を調査し改善すべきであると考えているが
- あさひ総合病院前の交差点の安全確保をすべきであると考えているが

### ◆大森憲平 議員

- 学校問題について
- 運動会での組立て体操について
- 武道館建設について
- 大規模災害時の高齢者及び障害者弱者の避難について
- 災害弱者避難計画書の作成について
- 要支援者名簿作成状況について
- 介護が必要な高齢者、障害者に対応できる福祉避難所の整備状況について

### ◆長崎智子 議員

- 平成28年度予算について
- 不妊治療費助成について
- あいのトキめき婚姻・出生祝福事業について
- 町の公共施設の整備について
- 福祉センター跡地事業について
- 西岡良則 議員
- 新年度予算及び補正予算について
- ふるさと納税の対策について
- 町政の運営について
- 第2次過疎地域自立促進計画について

### ◆道用昭雄 議員

- 泊高校存続のため、今後の町としての方向について
- 署名提出後の県の姿勢の変化はあるのか
- 公共施設のあり方について
- 福祉センターと格技室について
- まいぶんKANの利用状態と管理費の内容について

## 病床数の削減はどのような根拠に基づくののか



荒尾 勇二

**答** 2次医療圏の推計人口、各医療機関の稼働ベッド数等に基づいている

**質問** 4月から診療報酬が全体として1.03%引き下げられる

が、あさひ総合病院ではどれだけの削減となるか。また、都道府県では医療機関ごとに病床機能ごとの病床数を報告させ、削減計画を示した。富山県の削減率は33.3%で全国2位だといわれる。病床数の削減はどのような根拠に基づくのか。

**答** 丹 あさひ総合病院事務部長

今回の改定では、かかりつけ医師や薬局・薬剤師への報酬を厚くして、大病院との役割分担で医療の効率化を図ること、重傷者向けの急性期病床については、認定基準を厳しくして削減を進める一方、在宅を中心に住み慣れた地域で暮らすことのできる体制をつくり、少子高齢化の中での医療費の

抑制を目指すものである。

診療報酬の引き下げによるあさひ総合病院への影響については、リハビリテーション料など引き上げられる項目もあるが、急性期患者への算定要件が厳しくなるマイナスの要因もあり、どれだけの影響があるかはまだ言える段階ではない。

病床数の削減の根拠について

は、2次医療圏の推計人口、各医療機関の稼働ベッド数、入院患者数や入院診療報酬データに基づいている。あさひ総合病院では、5階病床49床の活用方法について削減も含め検討したい。

**再質問**

病床数削減の算定式は、大変冷たいものだ。経済的な事情などで入院したいができない人などが考慮されていない。昨年

介護報酬が引き下げられて、介護施設の閉鎖やベッドが空いているのに施設には入れないということが起こった。「医療難民」が出るのではないかと危惧するがどうか。

**再答** 丹 あさひ総合病院事務部長

病床機能の分類については、単純に点数で、回復期、急性期、慢性期、高度急性期と区分され、特に175点以下については在宅に回すという機械的な分類になっている。そういう意味で、「医療難民」も懸念される。



あさひ総合病院

**非正規雇用者を正規雇用者にしやすくする支援は**

**答** 国で事業主に対し助成を行っている

**質問**

非正規雇用者が雇用者の4分の1を占め、とりわけ若者の2人に1人が非正規雇用者といわれている。朝日町での雇用状態、とりわけ若者の実態を把握すべきだが、どうか。

中小企業が非正規雇用者を正規

雇用者にしやすくするような支援はできないか。

**答** 丹 商工観光課長

朝日町における雇用について、平成26年の経済センサス基礎調査によると、町内における正規雇用者は63%、非正規雇用者は37%で、全国的なデータと比較して正規雇用者が高い。また、平成24年のデータと比較しても、正規雇用者の割合は上昇している。若年層についてのデータは持ち合わせていない。

中小企業に対する支援策として、厚生労働省ではキャリアアップ助成制度を展開しており、正規雇用への転換、人材育成、処遇改善などの取り組みを実施した事業主に対して助成を行っている。

**再質問**

雇用者の状況は統計では出ている。しかし、その実態はよくわからない。ダブルワークや、まれにトリプルワークがあり、年収が200万円にも満たない状況だ。朝日町での実態を把握すべきだ。

**再答** 丹 商工観光課長

町では実際のところは把握していない。非正規雇用者を正規雇用者にするということは、今後企業回りをしている制度があることを周知していきたい。

# 一般質問

## 小中学校のエアコンの維持管理はどう行うのか

**答** 6月から9月までで設定温度は28度とし、設備で電力使用量を管理する



大森 憲平

**質問** 小学校、中学校のエアコン設置後の維持管理について、稼働時期や設定温度等の維持管理をどのように行うのか。また、教室と廊下とのフリースペースの部分の改造が必要であると思うが、どのようにされるのか。

また、電気料がプラスになると思うが、積算しているのか。

**答弁** 教育委員会事務局長 エ

エアコンの稼働時期については、6月から9月までのおおむね4カ月間で、設定温度は、地球温暖化対策の一環として環境省が推奨している28度とし、エアコンの稼働時は、デマンドコントローラーという設備を整備することで、ピーク電力の上昇により基本料金が上がることをないよう電力使用量を管理することとしている。

小学校の教室と廊下のフリースペース部分の改造については、既に教室間の間仕切りが設置されており、設計事務所との協議の中でも、十分にエアコンの効果を得られるとのことであり、改造は行わない予定としている。

電気料については、稼働日数を夏休み期間等を除いて、仮に60日間とすると、設計事務所の試算では、あさひ野小学校で約20万円、さみさと小学校で約40万円、朝日中学校で約25万円の増加となる。

エアコンを使用する日数や時間帯については今後学校とも協議し、エネルギーの浪費や維持管理コストの高騰にならないよう努めていきたい。

## 民間企業、他自治体への研修先と期間はどのくらいか

**答** 東川町、白馬村は1〜3週、企業は6カ月を予定

**質問** 富山県庁への職員の派遣をするほか、民間企業や他自治体への研修派遣を積極的に実施していくとの提案を出しているが、研修先と期間はどのくらいか。

また、どのようなことを研修してきてほしいのか。

研修先の会社社員の当町への研修も考えているのか。その期間はどのくらいか。



富山県庁

**答弁** 総務課長 災害協定を締

結した北海道の東川町や長野県の白馬村など先進的な他自治体への派遣研修とし、期間については1週間から3週間程度、中堅、若手を問わず、10名程度の派遣を予定

している。

また、民間企業への派遣研修も行っていきたいと考えており、6カ月間の長期研修として、現在のところ、職員2名の派遣研修を実施していく予定にしている。

逆に、研修先からの朝日町への研修については、東川町や白馬村は、これから研修内容を詰めていく中で、要請があれば積極的に受け入れを検討したいと考えている。

なお、現在話を進めている民間企業からは、社員を朝日町に派遣したいという要請もきており、具体的なことについては、最終的な詰めを行っている段階であり、民間の新たな風を取り込むといった意味においても、申し出については受け入れたいと考えている。

そのほか、富山県庁をはじめ、岩手県釜石市や一部事務組合、社会福祉法人有磯会への派遣についても、引き続き実施していきたい。

**再質問** 町と県とのパイプ役も必要であり、県庁はぜひやってほしいと思うが、町長の考えは。

**再答弁** 町長 県とのパイプ役は非常に大事なことだということと、県のスキルをしっかりとし身に付けてくるということも非常に大事であり、新年度も継続したいと思っている。

## バタバタ茶・蛭谷和紙の ブランド化事業、栽培委 託の計画と内容は



長崎 智子

**答** 新たな販路の開拓を目指し、市場  
調査やPRに努めたい

**質問** 平成27年度補正予算とし  
てバタバタ茶・蛭谷和紙のブラン  
ド化事業委託700万円と栽培委  
託400万円が計上されている  
が、計画と内容は。

**答弁** 企画政策室長 バタバタ  
茶について、栽培等に係る委託費  
として400万円を予算計上し  
た。この委託先は、若手農業者で  
組織するあさひ担い手ネットを予  
定している。

バタバタ茶には、植物界で極め  
てまれなビタミンB<sub>12</sub>が含まれ、健  
康の維持に重要な役割を果たして  
いるとされており、効能をアピー  
ルするとともに、販売促進のため  
に新たな販路の開拓を目指して、  
市場調査やPRに努めたいと考え  
ている。

蛭谷和紙については、事業の委

託先として協議会を設置すること  
を予定しており、マーケティング  
調査やPR等に700万円予算計  
上している。

蛭谷和紙は、北陸新幹線の黒部  
宇奈月温泉駅のインテリアとして  
使用されており、製造環境整備や  
担い手確保、高付加価値化によ  
り、増生産・増収入も期待でき、  
新たな分野での展開、新商品開発  
のためにも、市場調査の実施や事  
業化に向けた調査・研究、販路の  
開拓、販売促進といった手法の研  
究、PRの強化も図っていきたく  
と考えている。

**再質問** 地元の方々が高齢に  
なっており、後継者についてどう  
考えているのか。また、蛭谷町内  
会に話しているのか。

**再答弁** 企画政策室長 伝統文

化の継承には人づくりが大切と  
思っている。そういう意味で、後  
継者をつくっていくということが  
今一番求められていると思っ  
ている。  
県内の伝統工芸に携わっている  
方々のアドバイスもいただきなが  
ら、蛭谷地区に再度、和紙が復活  
するように努めていければと思っ  
ている。

また、直接町内会長にはまだ話  
はしていないが、事業をやっ  
ていく際には協議会をつくって対  
応していきたいと思っ  
ているので、そ  
の中には自治振興会長や町内会長  
の力も借りながら進めていきたく  
と考えている。

## やまぎき紅悠館の早急な整備 の考えは

**答** 整備手法や財源確保等総  
合的に検討していきたい

**質問** 山崎地区の女性の皆さん  
と交流した際、切実な願いを聞い  
た。地区の避難場所であるやまぎ  
き紅悠館は、世帯数に対して狭小  
であり、また炊き出し設備もな  
く、同じ環境である他地区と比べ  
ても、極度に環境が悪いと考え  
る。

高齢者や子ども等人命を守るこ  
とは、何にも増して優先しなければ

ばならず早急な整備が必要である  
が、町の考えは。

**答弁** 総務課長 やまぎき紅悠  
館は土砂災害やため池ハザード  
マップの危険箇所範囲に隣接し  
ているほか、畳敷きの部屋や炊き  
出しができる設備がないこと、ま  
た研修棟が山際にあり、高齢者や  
女性等が利用しづらいことから、  
山崎地区自治振興会から町に対し  
て、整備を求める「やまぎき紅悠  
館整備に関する要望」が提出され  
たが、その際には、整備には多額  
の費用を要することなどをお話し  
した。

また、他地区の施設についても  
老朽化に加え、利便性の向上や設  
備の充実などを求める要望が挙  
がっており、やまぎき紅悠館をは  
じめ、施設の修繕や増改築の要望  
については、町全体の状況を見き  
わめつつ、今後とも各自自治振興会  
や関係団体等とも話をしながら、  
その整備手法や財源確保等の問題  
について  
も総合的  
に検討し  
ていきたく  
と考えて  
いる。



やまぎき紅悠館

## 地方創生加速化交付金を活用した事業の内容や目標は

**答** 商品のブランド化等の確立により雇用創出し、人口減少の抑制につなげたい



西岡良則

**質問** 地方創生加速化交付金は、一億総活躍社会の実現に向けた緊急対策としての地方版総合戦略により、具体的な需要業績評価の設定と「計画・実施・評価・改善」の成果に基づく計画の進行管理を組み込んだ、各自治体の自主的・主体的で先駆性のある政策に地方創生加速化交付金を交付し、自治体の地方創生推進を支援するものである。

国の政策を受け、今議会で補正予算が計上されているが、その事業内容や目標は。

**答** 町長 朝日町では、この交付金を活用して、「〇〇」ってみたい、住みたい朝日町「ブランドづくりプロジェクト」として、実施計画書を国に申請しているところである。

具体的には、〇〇ってみたい、住みたい朝日町「ブランド化事業」として、サケ等の薫製、バタバタ茶、蛭谷和紙などの町の特産品、伝統産業継承などに関して、新たな開発商品のマーケティング調査や商品のブランド化、商品の生産加工、販路拡大、展示会による情報発信等を調査・研究していく。

また、観光客の受け入れ態勢整備に向けて、自然と文化が調和した朝日町の魅力を、ふるさと体験プログラム企画や講座の開講など、知る体験事業を展開すること、観光、移住・定住促進にもつなげていきたいと考えている。

さらに、減農薬・減化学肥料による特別栽培米・有機栽培野菜の栽培・出荷に向け、マーケティング調査、実証・研修を行い、学校

給食に安全・安心な食材を提供するとともに、高付加価値化、ブランド化、消費者に選ばれる安全・安心な地場産品づくりに積極的に取り組み、経営体の強化、担い手の育成、地産地消の推進等により、第1次産業の存続、持続的発展を図っていく。

これらの事業に取り組むことにより、商品ブランド化、新規販路開拓、観光ビジネス等の確立により事業の増収入、増生産、雇用創出をもたらし、移住・定住者の増加、人口減少の抑制につなげていきたいと考えている。

**再質問** 1年でこの事業は全てできるのか。町として、どのような方法を考えているのか。

**再答** 企画政策室長 この1年で全てを完結するということはなかなか難しいと思うが、このいろんな施策について、まずマーケティング調査なり、なぜこの事業に取り組んでいくかというところからスタートして、将来的な見通しを立てることがこの1年の主な業務でないかと考えている。

## 来庁者にやさしい庁舎の整備の内容は

**答** 窓口の仕切り板や相談コーナーの新設等を行う

**質問** 今年度予算で、庁舎の利便性の向上やプライバシーの確保に対応した来庁者にやさしい庁舎の整備計画予算が計上されているが、整備内容は。

**答** 総務課長 現在の役場庁舎は、おおむね30年が経過し、これまでも来庁者の利便性を考え、さまざまな環境改善、それから改修整備等を行ってきた。

新年度においては、「来庁者にやさしい庁舎整備事業」として、マット敷きの子ども用スペースの設置や1階の多目的トイレの中に授乳ベッド等の設備を置くほか、プライバシー確保の観点から、1階健康課の相談カウンターに仕切り板を設置、あわせで町民ホールの一角に相談コーナーを新たに設置したいと考えている。



カウンターに仕切り板を設置予定

## 町民会議の組織改編はどのように考えているのか

**答** 発展的に組織がえし、高校校長や教頭、PTAなどの参画を考えている



道用 昭雄

**質問** 先の議会で、泊高校の存続を考える町民会議の組織改編という趣旨を発表されたが、運動の展開とそのため財政の裏づけはどのようにしているのか。

**答** 町長 現在の町民会議を発展的に組織がえし、仮称「泊高校魅力化・活性化推進会議」といった町民組織とし、高校側から校長や教頭、PTA、同窓会などに参画してもらうことを考えている。

推進会議の設置・運営費に対する助成金として、当初予算案に20万円を計上しているが、魅力化のためすぐに取り組むべき事業であれば補正予算などで対応していきたいと考えている。

町としてどのようなことができるか

**答** 今ある特色を生かし、充実させ、発信することが重要

**質問** 町として今後どのようなことができるか。

**答** 町長 中高連携推進事業のさらなる強化をはじめ、今ある泊高校の特色を生かし、さらに充実させ、発信していくことが重要と考える。

また、平成27年9月の新川地域推進協議会、12月の県町村会による県要望の中でも、県立学校再編の検討に当たっては、地方創生の観点からも、多くの生徒が行政区域を越えて通学している現状や地域バランス、学校の特色を考慮

し、市町に最低1校の高等学校が配置されるよう、私みずから要望してきたところである。

福祉の町として活性化を図れないか

**答** 1つの選択肢だが、思慮を要するものと考え

**質問** 高齢者が安心・安全に暮らしていくため福祉の町として活性化を図れないか。

**答** 健康課長 高齢者が住み慣れた地域でできる限り自立した生活を営むことができるよう、そしてできる限り重篤な病気や要介護状態にならないことが重要な課題であると捉えており、健康寿命の延伸、地域包括ケアシステムの構築を強力に進めたいと考えている。

現在、朝日町は、あさひ総合病院や特別養護老人ホーム「有磯苑」、介護老人保健施設「つるさんかめさん」など、医療・介護施設が集合している拠点を有し、他に誇れるものと思っているが、医療・介護従事者の確保に苦慮していることから、まずはこの立て直しが急務であると考えている。

このことから、あさひ総合病院の医師や看護師、有磯苑の介護職員などの確保に向け、有磯苑南側

において医療・福祉従事者の住宅やアパートを建設するとともに、新たに医師公舎の一角に院内保育所を開設するなど環境整備に努めている。

医療や介護を生かしたまちづくりは、1つの選択肢であろうと思いが、思慮を要するものと考えている。

**再質問** 介護の人間がいないうことは、どういう原因が一番大きいのか。

**再答** 健康課長 職場の環境やそれ以外にもいろいろ考えられるが、一般的には給与水準が低いということになっている。

また、3Kとか6Kという悪いイメージや身体的、精神的な負担が多いところがある。

このようなことから、県においても払拭していかなければならない、イメージアップを図らなくてはならないということをやっているが、なかなか進まないのが現状である。



医療・福祉従事者の住宅アパート建設工事

# 常任委員長報告

## 常任委員長報告

### 総務産業委員会

当委員会は、3月14日は午前10時から、15日は午後1時から開催し、議会から付託されました全案件を慎重審査いたしました結果、付託されております全案件は、それぞれ原案のとおり可決、承認すべきものと決しました。

なお、議案審査の過程において、次の要望、意見がありました。

○ 国の地方創生加速化交付金申請の各事業の実施にあたっては、町の自然資源を生かした商品開発など6次産業化に向けて、地域経済の発展につながるよう関係する地元住民や団体と十分協議され、一過性とならないように長期的展望を視野に入れて事業を進められたい。

### 民生教育委員会

当委員会は、3月14日は午前10時から、15日は午後1時30分から開催し、議会から付託されました全案件を慎重審査いたしました結果、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。

なお、議案審査の過程において、次の要望、意見がありました。



あさひ総合病院



休床しているあさひ総合病院5階病棟

練された特長のある医療・介護・福祉が提供できるような有効活用を検討されたい。

次に請願の審査結果を申し上げます。

新規の請願1件、「介護報酬の見直し・介護労働者の処遇改善と人材確保に関する国への意見書提出を求める請願書」については願意妥当と認め、採択すべきものと決しました。

また、新規の陳情2件「軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情」及び「若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書採択の陳情」については、継続審査と決しました。

○ 政府は、団塊の世代が全員後期高齢者になる2025年時点での望ましい病床数を発表し、富山県は全国で2番目に高い病床削減率33・3%が示された。

県内4医療圏域の地域医療構想会議で検討されているとのことだが、あさひ総合病院は現在49床が休床している。

依然、医師・看護師確保が深刻な問題で再開に向けては大変厳しい状況下であり、当町の情勢にあった規模、より洗



# 議会日誌

## 一月

- 4日 新年賀詞交歓会
- 14日 議員協議会
- 19日 議会だより編集委員会
- 28日 全員協議会  
議員協議会

## 二月

- 8日 議会運営委員会  
全員協議会  
議員協議会
- 9日 東部議会議長会研修会
- 12日 町村議会議長協議会（富山市）
- 15日 糸魚川市・朝日町議会議員連絡協議会研修会（なないろKAN）
- 22日 町村議会議長会定期総会・研修会（富山市）
- 25日 議会運営委員会  
議員協議会

## 三月

- 2日 第1回議会定例会本会議（提案理由説明・細部説明）  
全員協議会
- 3日 全員協議会  
本会議（質疑）  
議員協議会
- 4日 議会運営委員会
- 9日 本会議（代表・一般質問）
- 10日 本会議（一般質問）
- 14日 総務産業常任委員会  
民生教育常任委員会
- 15日 民生教育常任委員会  
総務産業常任委員会  
民生教育常任委員会  
全員協議会  
議員協議会



糸魚川市・朝日町議会議員連絡協議会研修会  
(2/15 なないろKAN)

項目	H28.1.1～3.31		H27年度累計	
	件数	支出金額(円)	件数	支出金額(円)
祝儀・寸志・御酒	19	223,812	43	596,372
香典・生花・見舞	5	35,000	13	90,000
土産・贈答	0	0	0	0
負担金・会費	5	37,000	21	233,000
懇談会	0	0	0	0
餞別・激励・協賛金	0	0	3	15,000
その他	0	0	0	0
合計	29	295,812	80	934,372

議長交際費を公開します



17日 議会運営委員会  
本会議（委員長報告・討論・採決）

## 編集後記



春といえば、やはり学校での卒業・入学、会社での入社・異動・転勤・退職という人生の節目となる時期であります。

そんな折、第96回富山県町村会総会が開かれ、20年・30年勤続されました方々の「町村職員永年勤続表彰」があり、69名の皆様が表彰されました。

一口に20年・30年と申しますが、ここまでたどり着くには厳しいこと、つらいことも含め色々なことがあったでしょう。しかし、仕事への愛着と何よりも本人の努力の賜物が勤続に繋がったものと察します。その御苦労に対し深く敬意を表するものであり、その場に立ち会いました者としては、心からおめでとうという気持ちと、胸が熱くなる思いでありました。

さて、3月議会も終わり、当町の平成28年度予算も成立いたしました。今後は、課題に的確に対応した、切れ目のない予算の執行をしていただけるものと期待している一人です。

### ◇議会だより編集委員

西岡 良則 水野 仁士  
長崎 智子 荒尾 勇二  
清水 真人